



アレルギー科からのお知らせ

みなさんこんにちは、アレルギー科です。
現在アレルギー科には非常に多くの患者様が受診されているため、いつも外来受診時に長い時間お待ちをさせてしまい、大変申し訳ございません。

アレルギー科の診療体制について

現在アレルギー科には、藤澤院長・長尾医長を含め全部で6名の医師がいます。毎週月曜・木曜・金曜の午後にアレルギー外来を行っており、各日2~3名(混雑時は4名)の医師で診療を行っています。ホームページ等で外来診察担当医表に記載しております通り、アレルギー外来はアレルギー科医師による診療としています。つまり毎回同じ医師が診療を行う担当医制ではなく、その日に診療を行っているアレルギー科の医師の誰かが診療を行います。そのため、受診時に診療する医師の指定をして頂くことはできませんので御了承下さい。また外来診察担当医表では、月曜午前に長尾医師(アレルギー)という外来枠がありますが、これに関しても同様で、必ずしも長尾医師の診療となるとは限らず、アレルギー科医師での診療となります。

アレルギー科では治療方針を毎日相談しています

毎回診療する医師が違うこともあるため、不安に思われる方もいらっしゃるかもしれません。ただ、複数の医師がかかわることでのメリットもご

承知おき下さい。治療方針というのは、絶対すべきでない・ぜひした方がよいというものもありますが、ある程度「幅」があります。お子さんの個性や希望、状況をみながら一見同じような症状で困っている場合でも異なる治療方針となる時があります。そのためアレルギー科では毎日カンファレンスを行い、必要な情報を医師間で共有しています。また治療方針に関してもカンファレンスで検討することで、色々な意見を出し合い、患者様に最適な治療となるように努めております。

食物経口負荷試験前後にも医師がじっくり話し合い

病棟では日々食物アレルギーの経口負荷試験を行っています。これも同様に、前日にそのお子さんの年齢、これまでの状況、血液検査の結果などからどのような量で負荷試験をするか一人ずつしっかり検討し、負荷試験が終わった後もその結果からどのように対応したかを毎日確認しています。

よりよいアレルギー診療のために

こうすることで、私たちアレルギー科医師は一人で診療する以上に大きく経験を積み、さらに良い医療が提供できるよう日々研鑽を積んでおります。みなさんのためにアレルギー科一同努力していきますので、当科の方針をご理解頂けると幸いです。どうか宜しくお願い致します。

(三重病院アレルギー科)

異動のごあいさつ



●神経内科部長 丹羽 篤先生

2018年4月1日から三重病院の神経内科に、13年ぶりに赴任させていただきました。13年

間で三重病院は病棟が新しくなり、電子カルテが採用されるなど、いろいろな点で診療しやすく、患者さんの診療・介護に有利になっておりますが、神経難病の治療法は、それほど進歩しているわけではありません。私は神経難病の慢性期治療と、

病理学的検査や研究を通じて、主に三重県中勢地区の神経難病の診療改善につながる業績を上げられるように、こちらで一所懸命に頑張っていきたいと思っております。また当科の神経内科のマンパワーを増やし、それによって在宅患者様への医療にも力を注げるように環境を整えたいと思っております。

また、全国の病院の「神経内科」の標榜が、順次「脳神経内科」に変わることになりました。当院も今はまだ「神経内科」ですが、近日中に変更していく予定です。ご承知のほど、どうぞよろしくお願いたします。

